

建築工事設計図書作成基準の資料

(令和2年改定)

平成28年6月30日国営整第62号
最終改定 令和2年9月30日国営整第105号

この資料は、国土交通省官庁営繕部及び地方整備局等営繕部が官庁施設の営繕を実施するための資料として作成したものです。

利用にあたっては、国土交通省ホームページのリンク・著作権・免責事項に関する利用ルール (<http://www.mlit.go.jp/link.html>) をご確認ください。

国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課

技術基準トップページはこちら (関連する基準の確認など)

http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk2_000017.html

資料1. 略号

略号を使用する場合は次による。

項目	表示事項	表示略号	表示事項	表示略号
一般事項	塔屋屋上階	P R F	幅	W, w
	塔屋1階	P 1 F	長さ	L, l
	屋上階(塔屋のないもの)	R F	高さ	H, h
	3階中2階	3 F M F	直径	D, d, φ
	中2階	M F	半径	R, r
	1階、3階	1 F, 3 F B	縮尺	S
	地下1階	1 F	センターライン	Ⓞ
	ベンチマーク	B M	間隔	@
	基準地盤面	G L	厚さ	t, ㊦
	基準床面	F L	ダクトスペース	D S
			パイプスペース	P S
			エアーダクト	A D
			電気配線室	E P S
		エレベーター	E V	
構造	鉄骨鉄筋コンクリート	S R C	基礎	F
	鉄筋コンクリート	R C	布基礎	C F
	鉄骨	S	基礎梁	F G
	木	W	大梁	G
	軽量鉄骨	L G S	小梁	B
	コンクリートブロック	C B	トラス梁	T
	床版(スラブ)	S	プレート	P L, ㊦
	壁	W	フラットバー	f b
	土圧を受ける壁	R W	高力ボルト	H T B
	土圧を受け、かつ耐震壁	E R W	あばら筋	S T P
	耐震壁	E W	帯筋	Hoop
	柱	C	柱及び梁の幅	b
	間柱	P	柱及び梁のせい	D
筋かい	B R			

材 料 ・ 工 法	<塗装工法>		防水形合成樹脂エマルション系複層仕上塗材	防水形複層塗材E
	合成樹脂調合ペイント塗り	S O P	反応硬化形合成樹脂エマルション系複層仕上塗材	複層塗材 RE
	クリヤーラッカー塗り	C L	防水形反応硬化形合成樹脂エマルション系複層仕上塗材	防水形複層塗材RE
	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	N A D	合成樹脂溶液系複層仕上塗材	複層塗材 RS
	耐候性塗料塗り	D P	防水形合成樹脂溶液系複層仕上塗材	防水形複層塗材RS
	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り	E P - G	<軽量骨材仕上塗材>	
	合成樹脂エマルションペイント塗り	E P	吹付用軽量骨材仕上塗材	吹付用軽量塗材
	合成樹脂エマルション模様塗料塗り	E P - T	こて塗用軽量骨材仕上塗材	こて塗用軽量塗材
	ウレタン樹脂ワニス塗り	U C	<マスチック塗材>	
	ラッカーエナメル塗り	L E	マスチック塗材塗り A種	マスチックA
	オイルステイン塗り	O S	マスチック塗材塗り B種	マスチックB
	木材保護塗料塗り	W P	<パネル・ボード類>	
	<薄付け仕上塗材>		軽量気泡コンクリートパネル	A L C
	外装けい酸質系薄付け仕上塗材	外装薄塗材 S i	押出成形セメント板	E C P
	可とう形外装けい酸質系薄付け仕上塗材	可とう形外装薄塗材 S i	テラゾブロック	T B
	外装合成樹脂エマルション系薄付け仕上塗材	外装薄塗材 E	せっこうボード	G B - R
	可とう形外装合成樹脂エマルション系薄付け仕上塗材	可とう形外装薄塗材 E	せっこうラスボード	G B - L
	防水形外装合成樹脂エマルション系薄付け仕上塗材	防水形外装薄塗材 E	化粧せっこうボード	G B - D
	外装合成樹脂溶液系薄付け仕上塗材	外装薄塗材 S	シーリングせっこうボード	G B - S
	内装セメント系薄付け仕上塗材	内装薄塗材 C	強化せっこうボード	G B - F
	内装消石灰・ドロマイトプラスター系薄付け仕上塗材	内装薄塗材 L	不燃積層せっこうボード	G B - N C
	内装けい酸質系薄付け仕上塗材	内装薄塗材 S i	ロックウール化粧吸音板	D R
	内装合成樹脂エマルション系薄付け仕上塗材	内装薄塗材 E	ロックウール吸音ボード	R W - B
	内装水溶性樹脂系薄付け仕上塗材	内装薄塗材 W	グラスウール吸音ボード	G W - B
<厚付け仕上塗材>		けい酸カルシウム板	0.8FK, 1.0FK	
外装セメント系厚付け仕上塗材	外装厚塗材 C	硬質木毛セメント板	H W	
外装けい酸質系厚付け仕上塗材	外装厚塗材 S i	普通木毛セメント板	N W	
外装合成樹脂エマルション系厚付け仕上塗材	外装厚塗材 E	硬質木片セメント板	H F	
内装セメント系厚付け仕上塗材	内装厚塗材 C	普通木片セメント板	N F	
内装消石灰・ドロマイトプラスター系厚付け仕上塗材	内装厚塗材 L	<管類>		
内装せっこう系厚付け仕上塗材	内装厚塗材 G	硬質ポリ塩化ビニル管	V P, V U	
内装けい酸質系厚付け仕上塗材	内装厚塗材 S i	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管	R S - V U	
内装合成樹脂エマルション系厚付け仕上塗材	内装厚塗材 E	遠心力鉄筋コンクリート管	H P	
<複層仕上塗材>		配管用鋼管	S G P	
ポリマーセメント系複層仕上塗材	複層塗材 C E	配管用つば付き鋼管	T G P	
可とう形ポリマーセメント系複層仕上塗材	可とう形複層仕上塗材 C E	構造用鋼管	S T K	
防水形ポリマーセメント系複層仕上塗材	防水形複層塗材 C E	亜鉛めっき鋼管	S G P W	
けい酸質系複層仕上塗材	複層塗材 S i			
合成樹脂エマルション系複層仕上塗材	複層塗材 E			

建 具 等	木製戸	WD	ドアクローザー	DC
	鋼製戸	SD	フロアヒンジ	FH
	鋼製軽量戸	LD	ラバトリーヒンジ	LH
	ステンレス製戸	SSD	ピボットヒンジ	PH
	アルミニウム製戸	AD	ヒンジクローザー	HC
	樹脂製戸	PD	フロート板ガラス	P
	木製窓	WW	型板ガラス	F
	鋼製窓	SW	網入型板ガラス	NF
	ステンレス製窓	SSW	線入型板ガラス	WF
	アルミニウム製窓	AW	網入磨き板ガラス	NP
	樹脂製窓	PW	線入磨き板ガラス	WP
	重量シャッター	SS	合わせガラス	L
	軽量シャッター	LS	強化ガラス	T
	オーバーヘッドドア	OHD	熱線吸収フロート板ガラス	HAP
	木製がらり	WG	熱線吸収網入磨き板ガラス	HANP
	鋼製がらり	SG	熱線吸収線入磨き板ガラス	HAWP
	アルミニウム製がらり	AG	複層ガラス	IG
	ふすま	H	熱線反射ガラス	HR
	紙障子	P	倍強度ガラス	DS
	アルミニウム製カーテンウォール	ACW	倍強度熱線吸収ガラス	DSHA

資料2. 図面への記載事項

- i. 実施設計図書には、当工事に該当するものを記載する。
- ii. ※印の事項は、施工上やむを得ず発生する可能性の高い変更等について、あらかじめの検討事項を記載する場合の記載事項を示す。
- iii. (20)～(28)の図面の記載について、その他の図面等への記載をもって代えることができる。

(1) 表紙は、図面等の表題を表現する。

記 載 事 項		備 考
項 目	内 容	
工 事 名 称	〇〇〇〇〇建築工事	工事の契約年月を記入する。
契 約 年 月	平成〇〇年〇〇月	
担 当 部 局 名		
図 面 枚 数		

(2) 図面目録は、図面の順序及び名称を表現する。

記 載 事 項		備 考
項 目	内 容	
図 面 番 号		
図 面 名 称		

(3) 工事区分表は、特定の同一部位に対し、複数の契約工事による施工が行われる場合等において、各工事の範囲が重複することのないよう明確に区分し表現する。

(4) 敷地案内図は、工事場所への道案内及び周囲の概況を表現する。

記 載 事 項		備 考
項 目	内 容	
敷 地 の 位 置	所在地	記号を用いる場合は、国土地理院の定めた記号による。 方位は、真北とする。
主要交通機関、 周辺道路	鉄道名、駅名、道路名、停留所名、行先等	
目 標	公園、河川、付近の建物等	
方 位		
計 画 道 路	名称、位置及び幅員	

(5) 配置図は、新築、既存建物等の位置関係等を表現する。

記 載 事 項		備 考
項 目	内 容	
敷地の形状	敷地境界石標, 敷地境界及び敷地周囲の辺長	方位は、真北とする。 突出部等を破線で記載する。
周辺道路、隣地の状況	道路の名称及び幅員, 歩・車道の区分, 横断歩道, 歩道橋, 建物, 工作物等の輪郭及び高さ, 排水設備の経路等	
計画道路	名称, 位置及び幅員	
壁面線		
方位		
地盤高	ベンチマーク, 基準地盤面, 現状地盤高, 設計地盤高, 道路面及び隣地との高さ関係	
建物・工作物等の位置及び名称	接地階の輪郭, 建物の必要な基準線と敷地境界線又は敷地内の他の建物等との関係, 敷地内の他の建物の名称, 構造, 規模等建物の主要出入口の位置, 外部階段, 外部スロープ等 縁石及び舗装の種別, 舗装の標示, 誘導用床材・注意喚起用床材, 門, 圍障, 植栽, 芝張り, 擁壁, 排水設備の種類・経路等 庁名板, 旗竿及び屋外掲示板, 浄化槽, 防火水槽, オイルタンク, 外灯, コンクリート柱等	
工事範囲		
増築予定		
法規上の表現	延焼のおそれのある部分及び壁面制限線	
凡 例	表示記号, 略号等	

なお、縮尺 1/100 の場合は 1 階平面図を兼ねることができる。

(6) 面積表及び求積図は、国有財産法に基づく建物の建面積並びに建築基準法上の建築面積及び延べ面積について表現する。

記 載 事 項		備 考
項 目	内 容	
建物求積図	面積算出のための基準線	
面積算定表	面積算定式 国有財産法による求積表 建物の建面積及びその算定式 建築基準法による求積表 建築面積, 延べ面積及びそれらの算定式	

(7) 仕上表は、建物の外部及び内部の仕上げを表現する。

記 載 事 項		備 考
項 目	内 容	

外部仕上げ		
内部仕上げ		
内外付属品		
法規上の表現	不燃材料・準不燃材料等	
凡例	略号	

(8) 平面図は、各階の水平断面を表現する。

記載事項		備考
項目	内容	
基準線	通り心及び相互間寸法	
柱列記号		
方位		
区画	柱, 壁, 建具の位置及び種別	
室名	室名, 設備スペース名等	
床の高低	基準床面との高低差	
二重床等	二重床, ピット等の範囲	
建具符号		建具位置図を作成する場合は不要。
展開記号		展開図を作成しない場合は不要。
各種付属物等	移動間仕切, 可動間仕切, ファンコイルカバー, アコーディオンドア, 造りつけ家具, 書架(移動書架を含む。), 流し台, 表示標識, 黒板, 掲示板, 避難器具, タラップ, 誘導用床材・注意喚起用床材, 床点検口, 手すり, 衛生器具, トイレブース, 消火器ボックス, 消火栓, 分電盤, 換気口, 断熱材, 縦どい, ルーフドレン, 屋根排水勾配方向, E X P . J, 釜場, 取付け金物(丸環), 設備基礎, 補強を伴う床開口の位置, 寸法等	工事対象外のもの点線等で明示する。
工事範囲		
増築予定		
断面図の切断箇所		切断箇所が解り難い場合に記載する。
法規上の表現	防火区画, 防煙区画, 延焼のおそれのある部分, 防火戸の種別, 非常用進入口等	
凡例	表示記号, 略号等	

(9) 立面図は、建物の外観及び形状を表現する。

記 載 事 項		備 考
項 目	内 容	
地 盤 面 外 観・形 状 外 部 仕 上 げ	仕上材位置及び範囲	各面とする。 仕上表等で表現できない、部分的な仕上材が有る場合に記載する。
壁 目 地 工 事 範 囲 増 築 予 定	伸縮目地, 化粧目地, 打継ぎ目地等	
各種附属物等	手すり, タラップ, 屋外階段, 屋外スロープ, 庁名板, 案内板, 縦どい, 旗竿, 旗竿受け金物, 窓拭き用フック, 懸垂幕用フック, E X P . J , 避雷針, ベントキャップ, 高置水槽, クーリングタワー, アンテナ等	工事対象外のは点線等で明示する。
法規上の表現	斜線制限線, 高さ制限線, 壁面線, 延焼のおそれのある部分, 外部雷保護システムの保護範囲, 非常用進入口, 防火戸及びガラスの種別	
凡 例	表示記号, 略号等	

(10) 断面図は、建物各部と地盤との関係、建物の階高、階数等を表現する。

記 載 事 項		備 考
項 目	内 容	
地 盤 面 基 準 線 断 面 形 状 柱 列 記 号		平面図による。
各部の寸法	基準線と建物各部 庇・バルコニーの出等 基準地盤面・設計地盤高と建物各部 各階基準床面, 建物の高さ, 最高の高さ等	平面図による。
室 名	各床面と建物各部 ピット深さ, 二重床高, 天井高, 軒高, 階高等	
法規上の表現	敷地境界線, 斜線制限線, 高さ制限線, 壁面制限線, 外部雷保護システムの保護範囲, 前面道路幅員, 隣地及び前面道路又は前面道路向かいの隣地と基準地盤面との高さ関係等	

(11) 矩計図は、垂直断面における材料、工法、形状、寸法等を表現する。ただし、階数が多く、各階が同一寸法及び同一仕上げの繰り返しの場合は、基準階のみを示し、省略することができる。

記 載 事 項		備 考
項 目	内 容	
基 準 線		平面図による。
柱 列 記 号		平面図による。
基 準 地 盤 面	基準線と建物各部 壁心、仕上面、庇、バルコニーの出等 基準地盤面・設計地盤高並びに建物各部 各階基準床面、建物の高さ、最高の高さ等	屋上階基準床面は、構造体天端とし、水上及び水下を明記する。
壁 目 地	伸縮目地、化粧目地等	
各 部 の 寸 法	各床面と建物各部 ピット深さ、二重床高、上り床・下り床の仕上面、腰高、建具内法高、手すり高、天井高、天井ふところ高、軒高、階高、パラペット等 仕上材、構造体等	屋外手すり高は、水上床仕上面から手すり天端までの寸法とする。 他図等に表示されている場合は不要。
各 部 の 仕 上 げ		他図等に表示されている場合は不要。
室 名		
各 種 附 属 物 等	床勾配、屋根勾配、打込み断熱材、耐火被覆、防湿層、水切り、水抜きパイプ、取付け金物（丸環、手すり、旗竿受け金物、タラップ等）、床下・天井裏換気口、犬走り、側溝、建物に接した植え込み、縦どい、ルーフトレン、カーテンボックス、ファンコイルカバー、補強を伴う壁開口の位置、寸法等	

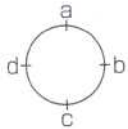
なお、短計図は部分断面詳細図を兼ねることができる。

(12) 平面・断面・部分詳細図は、一般図では表現できない部分の材料、工法、形状、寸法等を表現する。

記 載 事 項		備 考
項 目	内 容	
基 準 線		平面図による。
柱 列 記 号		平面図による。
展 開 記 号		展開図を作成しない場合は不要。
区 画	柱、壁、建具等の位置	
各 部 の 寸 法	基準線との関係 柱心、壁心、仕上面、建具内法幅等 各床面との関係 階高、天井ふところ高、天井高、腰高、建具内法高、手すり高等 仕上材、構造体等	他図等に表示されている場合は不要。
各 部 の 仕 上 げ		他図等に表示されている場合は不要。
室 名		
そ の 他	各部の構造体等との緊結方法	他図等に表示されている場合は不要。

各種附属物等	トイレブース, 洗面器, 手洗器, 鏡, 掃除流し, 便器, 流し台, こんろ台, 湯沸器, 吊戸棚, 水切り棚, くつ洗い, くつふきマット, 手すり, タラップ, 縦どい, 床点検口, 造りつけ家具, 消火器ボックス, 案内板, 黒板, 掲示板等	工事対象外の場合は点線等で明示する。
--------	---	--------------------

(13) 展開図は、一般図又は詳細図では表現が不十分な室について、壁面の構成並びに設備器具・家具類の配置及び取合いを表現する。

記載事項		備考
項目	内容	
基準線		平面図による。
柱列記号		平面図による。
仕上面		下地材は記載しない。
壁面の形状	展開の方向に現れる開口部, 建具, 造りつけ家具, 仕上げの見切, ボード類の割付け, 設備器具, その他の附属物	工事対象外の場合は点線等で明示する。
天井高		
各部の寸法	各床面と建物各部 上り床, 下り床, 腰高, 建具内法高, 手すり高, 補強を伴う壁開口, 上り天井, 下り天井等	
仕上げ		他図等に示されている場合は不要。
室名		
展開記号による展開方向	a, b, c, d	<p>展開記号</p>  <p>(平面図又は平面詳細図に記入。)</p>

(14) 天井伏図は、天井面の構成を表現する。

記載事項		備考
項目	内容	
基準線		平面図による。
柱列記号		平面図による。
区画	柱, 壁, 梁型, 建具等の位置及び仕上面	
仕上げ		
下り天井		
軒天井		
割付け		意匠上必要な場合に記載する。
天井高		
各種附属物等	カーテンボックス, カーテンレール, カーテン, ブラインド, シャッター引込み口又はシャッターケース, ピクチャーレール, アコーディオンドア, 折戸等のハンガーレール, 天井点検口, 換気口, 給排気口, 排煙口, 防煙垂壁, 埋込み照明器具用切込み開口, 吹出口及び吸込口用切込み開口並びにその他の設備	工事対象外の場合は点線等で明示する。
凡例	設備器具用切込み開口等表示記号, 略号等	

図は見上げとする。

(15) 建具表は、建具、建具金物及びガラス（既製間仕切等は除く。）を表現する。

記 載 事 項		備 考
項 目	内 容	
建 具	形状図 枠回り詳細 くつずり 種別及び開閉方法 箇所数 建具符号 建具寸法 建具枠寸法 ガラスの種別及び厚さ がらりの形状、寸法及び種別 網戸の有無及び網の種類 仕上げ その他	形状図は内観図とする。 防火戸、連動装置の種別等を記載する。
建 具 金 物 凡 例	支持金物, 自閉金物, 縮り金物等 表示記号, 略号等	

(16) 工作物等詳細図は、工作物等の詳細を表現する。

記 載 事 項		備 考
項 目	内 容	
工 作 物 等	平面, 立面, 断面及び詳細	

(17) 外構詳細図は、外構の詳細を表現する。

記 載 事 項		備 考
項 目	内 容	
門、囲障、擁壁 舗装、雨水枡リスト 排水設備等	平面, 立面, 断面及び詳細	

(18) 植栽図は、植栽等の位置及び範囲等を表現する。

記 載 事 項		備 考
項 目	内 容	
植 栽 等	植栽リスト, 支柱形式, 植栽基盤種別, 植樹位置, 芝張りの範囲等	配置図と組み合わせることができる。

(19) 仮設計画図は、仮囲い範囲及び工事用出入口の位置、当該仮設物の仕上げ等を指定明示する場合に作成する。なお、当該事項を配置図等に記載することにより省略できる。

(20) 構造関係共通事項の作成に当たっては、次の事項を記載する。

記 載 事 項		備 考
項 目	内 容	
記号等の凡例	表示記号, 略号等	
配筋標準図		
鉄骨標準図		
その他共通となる事項		

(21) 基礎伏図は、基礎（基礎ぐいを含む。）の配置を表現するものとし、次の事項を記載する。

記 載 事 項		備 考
項 目	内 容	
基 準 線	通り心及び相互間寸法	接合部を含む。 ※杭寸法、杭の位置ずれ及び杭の長さ変動について、あらかじめの検討における許容範囲、その対処方法等（補強方法等）を記載する。 接合部を含む。 接合部、ピット床版及びかま場の位置を含む。 接合部を含む。工事区分及び補強の有無にかかわらず、開口部の位置を記載する。
柱 列 記 号		
方 向	X方向及びY方向	
基 礎 ぐ い	試験杭及び本杭の配置, 形状, 略号, 寸法, 構造方法, 材料の種別及び杭天端と基準地盤面との高低差	
基 礎 (直接基礎)	配置, 形状, 略号, 寸法, 構造方法, 材料の種別及び基礎天端と基準地盤面との高低差	
耐 圧 版 (耐圧スラブ)	位置, 形状, 略号, 寸法, 構造方法, 材料の種別及びピットの位置	
ピ ッ ト 壁	位置, 形状, 寸法, 記号, 略号, 構造方法, 材料の種別, 開口位置, 開口形状及び開口寸法	
構造計算においてその影響を考慮した非構造部材	位置, 形状, 寸法, 記号, 略号, 材料の種別	
そ の 他	打増し範囲, 型枠の取り外しの有無及び埋め戻しの有無	
凡 例	表示記号, 略号等	

図は見下げとする。

(22) 各階床伏図は、柱、梁（基礎梁を含む。）、壁、床版等の配置を表現するものとし、次の事項を記載する。

記 載 事 項		備 考
項 目	内 容	
基 準 線	通り心及び相互間寸法	
柱 列 記 号		
方 向	X方向及びY方向	

梁及び床版の 高低差	基準床面との高低差	
柱	位置, 形状, 寸法, 記号, 略号, 構造方法及び材料の種別	接合部を含む。
梁	位置, 形状, 寸法, 記号, 略号, 構造方法及び材料の種別及び継手位置（鉄骨）	接合部を含む。 ※小梁の位置について、あらかじめの検討における許容範囲を記載する。
壁	位置, 形状, 寸法, 記号, 略号, 構造方法, 材料の種別, 開口位置, 開口形状及び開口寸法	接合部を含む。耐震壁を明記する。 その他構造計算においてその影響を考慮する非構造部材（下り壁、腰壁等）を含む。 躯体開口寸法を記載する。 ※躯体開口寸法及び開口位置について、あらかじめの検討における許容範囲（鉛直及び水平方向）を記載する。
床版（スラブ）	位置, 形状, 寸法, 記号, 略号, 構造方法, 材料の種別, 開口位置, 開口形状及び開口寸法	接合部を含む。 ※小梁位置について、あらかじめの検討における許容範囲を考慮した床版厚を記載する。 土に接する床版は土間コンクリートか土間床版かの区別を記載する。 躯体開口寸法を記載する。 ※躯体開口寸法及び開口位置について、あらかじめの検討における許容範囲（鉛直及び水平方向）を記載する。
筋かい	位置, 形状, 寸法, 略号, 構造方法及び材料の種別	接合部を含む。水平及び鉛直筋かいについて記載する。
階段	位置, 形状, 寸法, 略号, 構造方法及び材料の種別	接合部を含む。
梁貫通孔及びスリーブの材質	位置, 形状, 寸法, 記号, 略号及び材料の種別	躯体貫通孔径を記載する。工事区分及び補強の有無にかかわらず梁貫通孔の位置を記載する。 ※径及び位置について、あらかじめの検討における許容範囲（鉛直及び水平方向）を記載する。
屋根ふき材、内装材、外装材、帳壁その他これら類する建築物の部分	種別, 位置及び寸法	
広告塔、装飾塔その他建築物の屋外に取り付けるもの	種別, 位置及び寸法	
構造計算においてその影響を考慮した非構造部材	位置, 形状, 寸法, 記号, 略号及び材料の種別	
その他	打増し範囲, 型枠の取り外しの有無等	
凡例	各階床伏図の見上げ・見下げ方向の凡例表示記号, 略号等	

図は最下階を見下げとし、それ以外は見上げとする。

(23) 軸組図は、架構を表現するものとし、次の事項を記載する。

記 載 事 項		備 考
項 目	内 容	
基 準 線	通り心及び相互間寸法	平面図による。
柱 列 記 号		平面図による。
基 準 地 盤 面		平面図による。
基 準 床 面		
地 業	捨コンクリート及び砂利の位置、厚さ及び記号	
梁及び床版の高低差	基準床面との高低差	
柱	基準線からの位置、寸法、形状、記号、略号、構造方法、材料の種別及び基準床面からの継手位置（鉄骨）	接合部を含む。
梁	基準線からの位置、寸法、形状、記号、略号、構造方法、材料の種別及び基準線からの継手位置（鉄骨）	接合部を含む。
壁	基準線からの位置、寸法、形状、記号、略号、構造方法、材料の種別及び開口部	接合部を含む。耐震壁を明記する。その他構造計算において、その影響を考慮する非構造部材（下り壁、腰壁等）を含む。
床版（スラブ）	基準床面からの位置、寸法、記号、構造方法及び材料の種別	接合部を含む。
筋 か い	位置、寸法、記号、略号、構造方法及び材料の種別	接合部を含む。
梁貫通孔及びスリーブの材質	位置、形状、寸法、記号及び略号	躯体貫通孔径を記載する。工事区分及び補強の有無にかかわらず梁貫通孔位置を記載する。 ※径及び位置について、あらかじめの検討における許容範囲（鉛直及び水平方向）を記載する。
壁 開 口	位置、形状及び寸法	躯体開口寸法を記載する。 ※開口寸法及び開口位置について、あらかじめの検討における許容範囲（鉛直及び水平方向）を記載する。
構造計算においてその影響を考慮した非構造部材	位置、形状、寸法、記号、略号及び材料の種別	
そ の 他	打増し範囲、止水板の位置等	
凡 例	表示記号、略号等	

図は全ての軸組を記載し、その他必要に応じて、軸組以外の図についても記載する。

(24) 部材断面リスト図は、柱、梁等の断面形状及び寸法を表現するものとし、次の事項を記載する。

記 載 事 項		備 考
項 目	内 容	
基礎断面リスト	基礎（基礎ぐい含む。）の形状、寸法、断面（主筋等）、杭筋の定着等、略号及び材料の種別	基準地盤面を記載する。
柱断面リスト	形状、寸法、略号、断面（主筋、帯筋、フランジ、ウェブ等）、材料の種別、X方向及びY方向	
梁断面リスト	形状、寸法、略号、断面（主筋、あばら筋、腹筋、幅止め筋、フランジ、ウェブ等）及び材料の種別	
床版断面リスト (スラブ断面リスト)	形状、寸法、略号、断面（主筋等）及び材料の種別	
壁断面リスト	形状、寸法、略号、断面（主筋等）及び材料の種別	
補強リスト	梁貫通孔の補強、床開口・壁開口の補強及びその他の補強（杭の補強、接合部の補強等）	

(25) 構造詳細図は、構造耐力上主要である部材等の断面の配筋、仕口、継手等の構造方法を表現するものとし、次の事項を記載する。

記 載 事 項		備 考
項 目	内 容	
基 準 線	通り心及び相互間寸法	杭の補強及び接合部の補強を含む。 基準地盤面を含む。
柱 列 記 号		
基 準 地 盤 面		
基 準 床 面		
基礎配筋図（基礎ぐい配筋図を含む。）	杭頭の固定方法等	
雑 配 筋 図	階段、煙突、パラペット、ピット、かま場、打増し部等の補強等の形状、寸法、記号、略号、配筋（縦筋、横筋、主筋、配力筋の径及び間隔、交差部及び端部の配筋、開口部周りの補強筋、その他の補強筋等）及び材料の種別	接合部の補強を含む。
屋根ふき材、内装材、外装材、帳壁その他これらに類する建築物の部分及び広告塔、装飾塔その他建築物の屋外に取り付けるものの取り付け部分の構造方法	脱落の防止に関する取り付け方法	建築基準法第20条かつ令第3章第2節の規定が適用される建築物の場合、記載する。

<p>構造耐力上主要な部分である接合部並びに継手及び仕口の構造方法</p>	<p>柱、梁、又は柱と梁の取り合い、柱脚（ベースプレート、アンカーボルト等）、その他筋かい、母屋等の形状、寸法、継手工法、基準線からの寸法、基準床面からの寸法、基準床面からの継手位置、ボルト等の縁端距離及び摩擦面の状態</p>	<p>建築基準法第20条かつ令第3章第5節及び第6節の2の規定が適用される建築物の場合、記載する。</p>
<p>鉄骨造の柱の脚部を基礎に緊結する構造方法</p>	<p>アンカーボルトの配置、径、基礎に対する定着長さ、座金、戻り止めの有無、柱の最下端の断面積に対するアンカーボルトの全断面積の割合、ベースプレートの厚さ、アンカーボルト孔の径、縁端距離、根巻き部分の高さ、根巻き部分の主筋の本数及び先端形状、根巻き部位の帯筋、コンクリートへの埋込み部分の深さ、U字形の補強筋位置及び埋込部分の鉄骨に対するコンクリートかぶり厚さ</p>	<p>建築基準法第20条かつ令第3章第5節及び第6節の2の規定が適用される建築物の場合、柱脚の構造方法に応じて記載する。</p>
<p>加熱開始後30分間構造耐力上支障ある変形、溶融、破壊その他の損傷を生じない柱の構造方法 （柱の防火被覆）</p>		<p>建築基準法第20条かつ令第3章第5節の規定が適用される建築物の場合、記載する。 （建築基準法第2条第九号の二に掲げる基準に適合する建築物及び同条第九号の三イに該当する建築物を除く。）</p>
<p>鉄筋の配置、径、継手及び定着の方法</p>	<p>継手、定着、柱と梁の接合部の配筋等</p>	<p>建築基準法第20条かつ令第3章第6節及び第6節の2の規定が適用される建築物の場合、記載する。</p>
<p>鉄筋又は鉄筋及び鉄骨に対するコンクリートのかぶり厚さ</p>		<p>建築基準法第20条かつ令第3章第6節及び第6節の2の規定が適用される建築物の場合、記載する。</p>
<p>構造耐力上主要な部分である軸組等の構造方法</p>		<p>建築基準法第20条かつ令第3章第3節の規定が適用される建築物の場合、記載する。</p>
<p>構造耐力上主要な部分である継手又は仕口の構造方法</p>		<p>建築基準法第20条かつ令第3章第3節の規定が適用される建築物の場合、記載する。</p>
<p>外壁のうち、軸組が腐りやすい構造である部分の下地</p>		<p>建築基準法第20条かつ令第3章第3節の規定が適用される建築物の場合、記載する。</p>
<p>構造耐力上主要な部分の地面から1 m以内の部分の防腐又は防蟻措置</p>		<p>建築基準法第20条かつ令第3章第3節の規定が適用される建築物の場合、記載する。</p>

(26) 使用構造材料一覧表（基礎、主要構造部及びその他構造耐力上主要な部分に限る。）は、次の事項を記載する。

記 載 事 項		備 考
項 目	内 容	
構造耐力上主要な部分のうち特に腐食、腐朽又は摩損のおそれのあるものに用いる材料の腐食、腐朽若しくは摩損のおそれの程度又はさび止め、防腐若しくは摩損防止の措置	捨てコンクリート及び砂利の種別	建築基準法第20条かつ令第3章第5節、第6節及び第6節の2の規定が適用される建築物の場合、記載する。
地業の材料の種別		
構造耐力上主要な部分に用いる材料の種別		
コンクリートの骨材、水及び混和材料の種別		
構造耐力上主要な部分に用いる木材の品質		建築基準法第20条かつ令第3章第3節の規定が適用される建築物の場合、記載する。

(27) 基礎・地盤説明書は、次の事項を記載する。

記 載 事 項		備 考
項 目	内 容	
支持地盤の種別及び位置	既往の地盤調査の方法及びその結果、構造計算に用いた支持地盤の位置、常水面の位置、基準地盤面と孔口標高との関係、土質柱状図等	土質柱状図の標準貫入試験のN値の表欄に基礎底版位置等を記載する。
地盤調査等	施工時に行う地盤調査の方法等	
基礎の底部又は基礎ぐいの先端の位置		
基礎の底部に作用する荷重の数値及び算出方法		
地盤改良等	地盤改良の種別、配合量、改良率、施工要領、試験方法等	

(28) 施工方法等計画書は、次の事項を記載する。

記 載 事 項		備 考
項 目	内 容	
打撃、圧力又は振動により設けられる基礎ぐいの打撃力等に対する構造耐力上の安全性を確保するための措置	構造耐力上の安全性を確保するための措置等	建築基準法第20条かつ令第3章第2節の規定が適用される建築物の場合、記載する。
コンクリートの強度試験方法、調合及び養生方法		建築基準法第20条かつ令第3章第6節及び第6節の2の規定が適用される建築物の場合、記載する。
コンクリートの型枠の取り外し時期及び方法		建築基準法第20条かつ令第3章第6節及び第6節の2の規定が適用される建築物の場合、記載する。

資料3. 特記仕様書の工事概要記載例

〇〇〇〇 工事 特記仕様書

I 工事概要

1 工事場所 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇番地〇号

2 敷地面積 〇〇, 〇〇〇. 〇〇m²

3 工事種目

(1) 庁舎 鉄骨鉄筋コンクリート造 〇階建(地下〇階 塔屋〇階) 新築 1棟

建面積 〇〇〇. 〇〇m² (国有財産法による)

建築面積 〇〇〇. 〇〇m² (建築基準法による)

延べ面積 〇, 〇〇〇. 〇〇m² (国有財産法及び建築基準法による)

地下〇階 〇〇〇. 〇〇m²

地下1階 〇〇〇. 〇〇m²

1階 〇〇〇. 〇〇m²

2階 〇〇〇. 〇〇m²

・

・

〇階 〇〇〇. 〇〇m²

塔屋1階 〇〇. 〇〇m²

塔屋〇階 〇〇. 〇〇m²

(2) 宿舎 鉄筋コンクリート造 〇階建 新築 1棟

建面積 〇〇〇. 〇〇m² (国有財産法による)

建築面積 〇〇〇. 〇〇m² (建築基準法による)

延べ面積 〇〇〇. 〇〇m² (国有財産法及び建築基準法による)

1階 〇〇〇. 〇〇m²

・

・

・

〇階 〇〇〇. 〇〇m²

(3) 自動車車庫 鉄骨造 平屋建 増築 1棟

	増築部分	既存部分	合 計	
建 面 積	〇〇〇. 〇〇m ²	〇〇〇. 〇〇m ²	〇〇〇. 〇〇m ²	国有財産法による
延べ面積	〇〇〇. 〇〇m ²	〇〇〇. 〇〇m ²	〇〇〇. 〇〇m ²	国有財産法による

	増築部分 (計画部分)	既存部分 (計画以外)	合 計	
建築面積	〇〇〇. 〇〇m ²	〇〇〇. 〇〇m ²	〇〇〇. 〇〇m ²	建築基準法による
延べ面積	〇〇〇. 〇〇m ²	〇〇〇. 〇〇m ²	〇〇〇. 〇〇m ²	建築基準法による

(4) 渡り廊下 軽量鉄骨造 平屋建 新築 1棟

建 面 積 〇〇〇. 〇〇m² (国有財産法による)

建築面積 〇〇〇. 〇〇m² (建築基準法による)

延べ面積 〇〇〇. 〇〇m² (国有財産法及び建築基準法による)

- | | | |
|------------|----------------------------|----------|
| (5) 門 | 鉄筋コンクリート造 (扉付き) | 新設 1箇所 |
| (6) 囲障 | コンクリートブロック造 | 新設 一式 |
| (7) 屋外排水設備 | | 新設 一式 |
| (8) 舗装 | アスファルト舗装 | 新設 一式 |
| (9) 煙突 | 鉄筋コンクリート造 | 新設 1箇所 |
| (10) 高置水槽 | 鉄筋コンクリート造 | 新設 1箇所 |
| (11) 諸標 | | |
| イ 境界石標 | | 新設 〇箇所 |
| ロ 庁名板 | | 新設 1箇所 |
| (12) 雑工作物 | | |
| イ 掲示板 | | 新設 1箇所 |
| ロ 掲揚台 | | 新設 1箇所 |
| (13) 樹木 | | 新植 一式 |
| (14) 芝張り | | 新植 一式 |
| (15) 電気設備 | | 新設 一式 |
| (16) 機械設備 | | 新設 一式 |
| (17) 倉庫 | 木造 平屋建 | 取りこわし 1棟 |
| | 延べ面積 〇〇〇. 〇〇m ² | |

<新営工事(木造以外)の場合>

II 建築工事仕様

- (1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（〇〇年版）[〇〇年〇〇月制定]」（以下「標準仕様書」という。）による。^(※1) 図面、本特記仕様書及び標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（〇〇年版）[〇〇年〇〇月制定]」による。

<新営工事（木造）の場合>

II 建築工事仕様

- (1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築木造工事標準仕様書（〇〇年版）[〇〇年〇〇月制定]」（以下「木造標準仕様書」という。）による。図面、本特記仕様書及び木造標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（〇〇年版）[〇〇年〇〇月制定]」による。

<改修工事の場合>

II 建築改修工事仕様

- (1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（〇〇年版）[〇〇年〇〇月制定]」（以下「改修標準仕様書」という。）による。図面、本特記仕様書及び改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（〇〇年版）[〇〇年〇〇月制定]」による。

(※1) 新営工事において、改修標準仕様書を適用する必要がある場合は、記載しない。

資料4. 図面ファイル名の命名例

図面ファイル名の命名例を次に示す。

AAABBCCC.DDD

AAA：半角数字3文字 “000～999”（図面ファイルの通し番号）

BB：半角大文字のアルファベット2文字（図面分類）

CCC：半角大文字のアルファベットまたは半角数字3文字
（図面名称、通し番号、又は平面図等の階数）

DDD：拡張子3文字

表 図面ファイル名のBB部及びCCC部に使用する名称（建築）

図面分類	BB部	図面名称	CCC部
共通	CO	表紙	HYO
		図面目録	MOK
		特記仕様書	SH●
		工事区分表	KUB
意匠	DS	敷地案内図	ANN
		敷地求積図	SIK
		敷地現況図	SIG
		配置図	HAI
		面積表及び求積図	ME●
		仕上表	SI●
		平面図	F●●
		立面図	RI●
		断面図	DN●
		矩計図	KAN
		平面・断面・部分詳細図	S●●
		展開図	K●●
		天井伏図	T●●
建具位置図	TF●		

		建具表	TA●
		工作物等詳細図	KO●
		外構詳細図	GA●
		植栽図	SY●
		仮設計画図	KA●
構造	ST	構造関係共通事項	KK●
		基礎伏図・各階床伏図	F●●
		軸組図	JK●
		部材断面リスト図	BL●
		構造詳細図	KS●
		使用構造材料一覧表	SZ●
		基礎・地盤説明書	KJ●
		施工方法等計画書	SK●

注 ●は、半角数字“0～9”とする。